

マスコット作り 生きがい

南三陸の主婦ら参加



布でマスコット作りをする主婦ら（6日、南三陸町で）

南三陸町のホテルで6日、地元の主婦らが手作りし人気を集めているマスコットの制作会が開かれた。

被災地の女性の生きがいに、ファッションブランド「ジュン アシダ」（東京都）が2013年から年2回ほど、縫製技術などを指導。マスコットは「ミナ・タン チャーム」の商品名で同社直営店などで販売

され、主婦らの収入にもつながる。

この日は、町内から9人の女性が参加。デザイナーから説明を受けた後、今回はウェディングドレス姿の動物のマスコットを手作りした。

13年から参加している沼倉京子さん（83）は「孫にお小遣いもあげられる。家でも毎日作れるので楽しい」と笑顔だった。